

# 児童ら「手術」に集中

## 浜松医大 親子15組 医師体験

県内の小学五、六年が、浜松市東区の浜松生を対象にした医師体験 医科大付属病院であった。十五組の親子が、



腹腔鏡手術を模擬体験する子どもたち  
＝浜松市東区の浜松医科大付属病院で

を使って手術や聴診、心肺蘇生のやり方などを体験した。

医学に興味を持ってもらおうと、同大の学生サークルが主体となり開いて三回目。子どもたちは手術着を身に付け、医学生から手ほどきを受けた。

腹部に小さな穴を開けて器具を差し込み、患部を切除する腹腔鏡手術では、人形を使って操作に挑戦。画像を見ながら専用の器具でビーズを挟むなど、細かな作業にも集中して取り組んでいた。

超音波(エコー)検査で血管の流れを確認したり、聴診器で呼吸音を聴いて病気を診断したり。子どもたちは熱心に医学生の説明を聞き、医師体験を楽しんでいた。

(宿谷紀子)